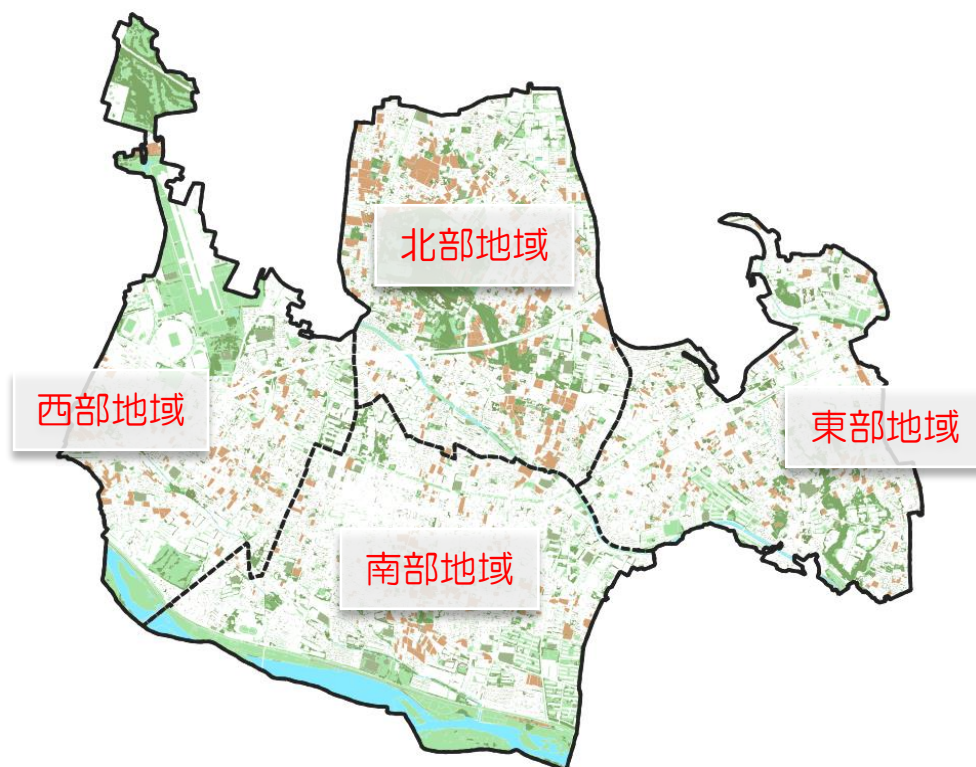


6-3 地域別計画

(1) 概要

＜地域の考え方＞

調布市都市計画マスタープランにおける地域区分と整合性を図り、市域を東部・西部・南部・北部の4つに分け、それぞれの地域の特性に合わせた計画を策定します。地域の環境資源や現状等を踏まえながら、4つの地域における地域別計画を定めます。緑の将来像の実現を目指しながら、体系に沿った施策を展開し、また各地域の方針に基づき、地域の方々が地域の緑に誇りと愛着を持ち、緑に携わりたいと思えるようなまちづくりを推進します。

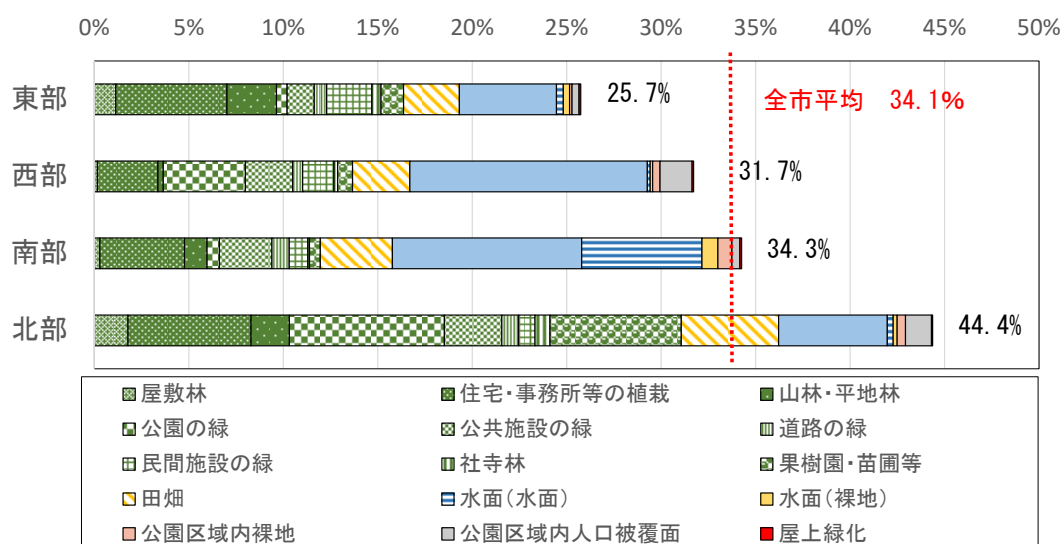


東部地域	西つつじヶ丘1～4丁目 緑ヶ丘1, 2丁目 入間町1～3丁目	東つつじヶ丘1～3丁目 仙川町1～3丁目	菊野台1～3丁目 若葉町1～3丁目
西部地域	野水1, 2丁目 飛田給1～3丁目 多摩川1, 2丁目	西町 上石原1～3丁目	富士見町1～4丁目 下石原1～3丁目
南部地域	調布ヶ丘1, 2丁目 布田1～6丁目 多摩川3～7丁目	八雲台1, 2丁目 国領町1～8丁目	小島町1～3丁目 染地1～3丁目
北部地域	深大寺北町1～7丁目 深大寺南町1～5丁目 柴崎1, 2丁目	深大寺元町1～5丁目 佐須町1～5丁目	深大寺東町1～8丁目 調布ヶ丘3, 4丁目

<地域別の特徴の概要>

地域別のみどり率は、全市平均の34.1%に対し、北部地域・南部地域はみどり率が高く、東部地域、西部地域はみどり率が低くなっています。構成比の特徴としては、東部では「屋敷林」「住宅・事務所等の植栽」「山林・平地林」「民間施設の緑」等が、西部では「公園の緑」「草地」等が、南部では「水面（水面）」等が、北部では「屋敷林」「公園の緑」「果樹園・苗圃等」等が、それぞれ構成比がとくに多くなっています。

地域別のみどり率



緑被の構成比（% は全市平均より高く、% は全市平均より低いことを表す）

構成比	全市平均	東部	西部	南部	北部
屋敷林	2.3%	4.4%	0.5%	0.8%	4.0%
住宅・事務所等の植栽	14.4%	22.9%	10.1%	13.1%	14.7%
山林・平地林	4.2%	10.2%	0.9%	3.5%	4.6%
公園の緑	9.8%	2.2%	13.7%	1.9%	18.5%
公共施設の緑	7.3%	5.6%	7.9%	8.1%	6.9%
道路の緑	2.2%	2.5%	1.7%	2.7%	2.0%
民間施設の緑	4.2%	9.3%	5.2%	2.9%	2.0%
社寺林	1.1%	1.9%	0.6%	0.3%	1.8%
果樹園・苗圃等	6.5%	4.7%	2.5%	1.7%	15.7%
田畑	11.0%	11.5%	9.6%	11.2%	11.6%
草地	25.5%	20.0%	39.6%	29.2%	13.0%
水面（水面）	6.0%	1.4%	0.5%	18.6%	0.7%
水面（裸地）	1.2%	1.3%	0.4%	2.5%	0.5%
公園区域内裸地	1.3%	0.5%	1.2%	2.2%	1.0%
公園区域内人口被覆面	2.9%	1.4%	5.4%	1.2%	3.1%
屋上緑化	0.2%	0.4%	0.3%	0.3%	0.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

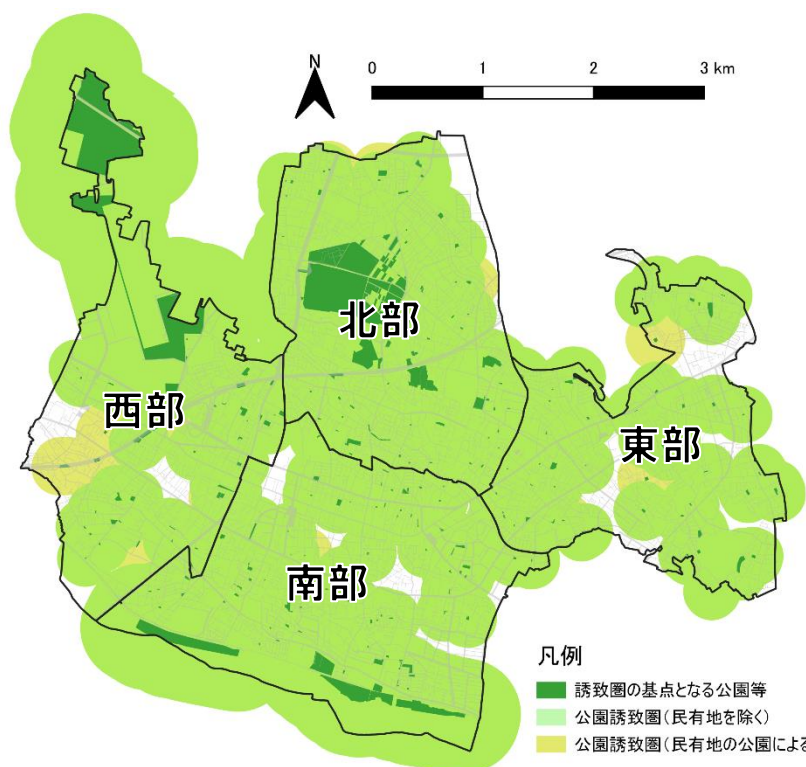
※上記の表の数値は小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計値は必ずしも100.0%と一致しない。

出典：調布市緑に関する実態調査結果（令和元年度）

<地域別の特徴の概要>

公園の面積は都立公園のある北部地域や西部地域が多くなりますが、地域別の公園誘致圏に基づく人口カバー率をみると、とくに東部地域の人口カバー率が全市の平均より低くなっています。

図表 公園等の分布と誘致圏※ **【再掲】**



※対象は原則として公園・児童遊園・仲よし広場とし、緑地のうち多摩川自然観察緑地については、規模や河川敷として一体的な利用が考えられることから対象とした。

※誘致圏の設定は以下の通り。
面積 2 ha 以上の公園
… 公園の外周から 500m
面積 2 ha 未満の公園
… 公園の外周から 250m

公園誘致圏の人口カバー率…

国勢調査（小地域集計）をもとにした面積按分から推計される誘致圏内の人口について、総人口に対する割合を算出。取得できた最新データの都合上、2015年の人口について、2020年時点の公園誘致圏からカバー率を算出。

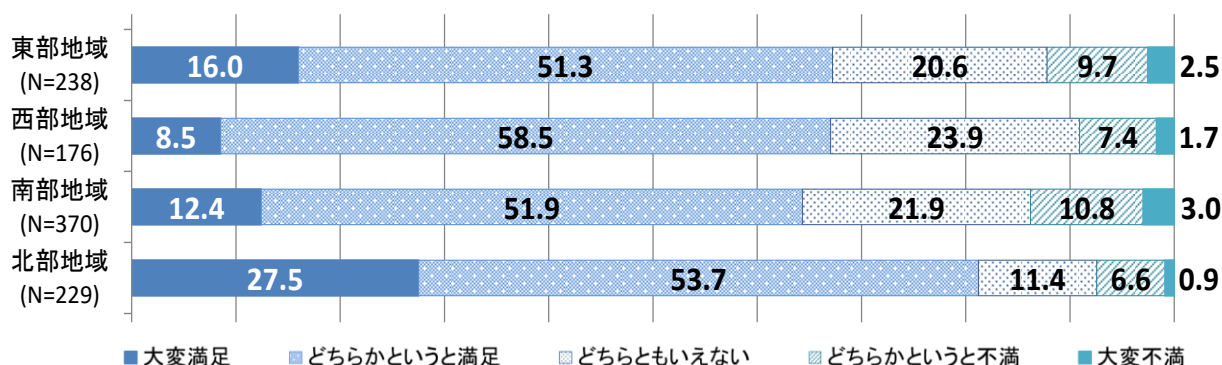
全 体	93.6%
東 部	88.3%
西 部	92.8%
北 部	95.5%
南 部	97.5%

令和2年8月現在の整備状況に基づく

<地域別の市民意向の概要>

緑についての満足度は、北部地域で高く、「大変満足」「どちらかという満足」を合わせて8割を超えています。その他の地域はあまり差がなく6～7割程度となっています。

緑についての満足度



出典：調布市の緑に関する市民アンケート調査結果（令和元年度）

緑について不満足な点は、1番目に「街並みの景色が悪い」、2番目に「公園や緑地が少ない」はいずれの地域も共通しています。

3番目以降として、東部地域では「自然の水辺、水環境が乏しい」「自然の景色が悪い」等が、西部地域では「自然の水辺、水環境が乏しい」「歴史・文化的資産が保全されていない」等が比較的高くなっています。南部地域では2番目の「公園や緑地が少ない」が他地域よりとくに高いほか、「緑が乏しい」「自然と親しみにくい」等が高くなっています。北部地域では1番目の「街並みの景色が悪い」が他地域より高くなっています。

緑について不満足な点

	総数	緑が乏しい	公園や緑地が少ない	自然の水辺、水環境が乏しい	自然と親しみにくい	自然の景色が悪い	街並みの景色が悪い	歴史・文化的資産が保全されていない
東部地域	252	24	70	35	28	34	82	14
	100.0%	9.5%	27.8%	13.9%	11.1%	13.5%	32.5%	5.6%
西部地域	186	19	45	22	15	19	63	15
	100.0%	10.2%	24.2%	11.8%	8.1%	10.2%	33.9%	8.1%
南部地域	387	59	117	22	48	33	135	15
	100.0%	15.2%	30.2%	5.7%	12.4%	8.5%	34.9%	3.9%
北部地域	237	10	29	20	17	15	99	13
	100.0%	4.2%	12.2%	8.4%	7.2%	6.3%	41.8%	5.5%

% 1番目に割合が高い
 % 2番目に割合が高い
 % 3番目に割合が高い

出典：調布市の緑に関する市民アンケート調査結果（令和元年度）

※上表は、緑について『大変満足』『どちらかという満足』と回答した者も含めた全員の集計結果。

※複数回答可の設問のため、各回答割合の合計は100%とはならない。

市を象徴する緑だと思うものとしては、1番目に「大きな公園の緑」、2番目に「河川の緑」、3番目に「街路樹の緑」はいずれの地域でも共通しています。

それ以外として、東部地域では、「崖線の緑」「身近な公園の緑」が、西部と南部地域では、「駅前公園の緑」が、北部地域では「崖線の緑」「湧水の緑」がそれぞれ高くなっています。

市を象徴する緑だと思うもの

	総数	崖線の緑	街路樹の緑	大きな公園の緑	身近な公園の緑	駅前公園の緑	河川の緑	湧水の緑	その他
東部地域	252	50	84	205	21	22	110	17	8
	100.0%	19.8%	33.3%	81.3%	8.3%	8.7%	43.7%	6.7%	3.2%
西部地域	186	13	42	164	10	20	86	9	3
	100.0%	7.0%	22.6%	88.2%	5.4%	10.8%	46.2%	4.8%	1.6%
南部地域	387	34	113	320	18	37	220	15	9
	100.0%	8.8%	29.2%	82.7%	4.7%	9.6%	56.8%	3.9%	2.3%
北部地域	237	29	49	207	15	15	110	27	5
	100.0%	12.2%	20.7%	87.3%	6.3%	6.3%	46.4%	11.4%	2.1%

% 1番目に割合が高い
 % 2番目に割合が高い
 % 3番目に割合が高い

出典：調布市の緑に関する市民アンケート調査結果（令和元年度）
 ※複数回答可の設問のため、各回答割合の合計は100%とはならない。